

事業番号	15 01 12	事業改善シート（26年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	山岳遭難救助活動経費			担当課	部局	警察本部	
総合5か年計画	プロジェクト	2-1-3 農山村産業クラスター形成プロジェクト			課・室	山岳安全対策課	
	施策の総合的展開	1-2 強みを生かした観光の振興			E-mail	police-sangaku@pref.nagano.lg.jp	
		1 選ばれる観光地域づくり			実施期間	S29 ~	

1 事業の概要

目指す姿	長野県内を訪れる登山者に対して、県警山岳遭難救助隊及び各地区山岳遭難防止対策協会が連携し、山岳遭難防止活動と、安全・迅速な山岳救助活動を行い、登山者の安全を確保する。																					
現状（予算編成時）	<input type="checkbox"/> 平成25年中の山岳遭難は、過去最多の300件発生しており、出動人員は、警察官1,554人、各地区山岳遭難防止対策協会救助隊員580人が出動している。（平成25年11月6日現在、既に過去最多の昨年の発生件数を上回る285件の山岳遭難が発生している。） <input type="checkbox"/> 山岳遭難は増加傾向にあり、滑落や転倒による遭難、中高年者による遭難が多くを占めている。																					
県が関与する理由	県でなければ実施不可（法令等義務）	【左記の説明、根拠法令等】 警察法、警察法施行令、警察官職務執行法、長野県山岳遭難防止対策協会会則																				
成果目標・事業内容	① 成果目標（H26）																					
	北アルプス等の著名かつ人気の高い山々を多数抱え、年間70万人を超える登山者が全国から訪れる長野県において、山岳遭難は多発傾向にあることから、遭難救助に関わる救助隊員の技術の向上や装備品の充実を図るとともに、遭難防止活動を強化し、遭難者の安全救助と活動中の救助隊員の事故防止を図る。																					
	② 事業内容 （単位：千円）																					
	項目	実施方法	H26事業実績																			
			<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">H26</th> <th>H27</th> </tr> <tr> <th>（当初）</th> <th>（決算）</th> <th>（当初）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 県警救助隊による□パトロール経費</td> <td>770</td> <td>715</td> </tr> <tr> <td>2. 県警救助隊用装備品の整備</td> <td>2,240</td> <td>2,069</td> </tr> <tr> <td>3. 長野県山岳遭難防止対策協会救助部負担金</td> <td>7,102</td> <td>7,102</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>10,112</td> <td>9,886</td> </tr> </tbody> </table>		H26		H27	（当初）	（決算）	（当初）	1. 県警救助隊による□パトロール経費	770	715	2. 県警救助隊用装備品の整備	2,240	2,069	3. 長野県山岳遭難防止対策協会救助部負担金	7,102	7,102	合計	10,112	9,886
H26		H27																				
（当初）	（決算）	（当初）																				
1. 県警救助隊による□パトロール経費	770	715																				
2. 県警救助隊用装備品の整備	2,240	2,069																				
3. 長野県山岳遭難防止対策協会救助部負担金	7,102	7,102																				
合計	10,112	9,886																				

事業コスト	区分（単位：千円）	24年度	25年度	26年度	27年度
	前年度繰越	0	0	0	0
	当初予算	8,817	8,817	8,897	12,729
	補正予算	0	0	1,215	0
	合計(A)	8,817	8,817	10,112	12,729
	一般財源	7,960	7,960	7,970	8,150
	県債	0	0	0	0
	国庫支出金	857	857	897	1,047
	その他	0	0	1,245	3,532
	決算額(B)	8,741	8,704	9,886	
概算人件費	職員数(人)	0.01	0.01	0.01	0.01
	概算人件費(C)	83	83	83	83
概算事業費(B(A)+C)		8,824	8,787	9,969	12,812

成果目標の達成状況					
項目	H25末（実績）	H26			H27
		目標	成果	達成状況	目標
合同山岳救助訓練の実施	-	-	-	-	8回

目標に対する成果の状況	救助隊員の救助技術の向上や装備品の充実を図った結果、301人の遭難者を救助・収容するとともに、活動中の二重遭難事故が0件と、救助隊員等の事故防止が図られた。
-------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 山岳遭難は未だ多発傾向にあり、それに伴う救助隊員の出動事案も多いことから、装備品の充実整備や救助・パトロール体制の強化を行うなど、山岳遭難救助活動事業については今後も更に強化していきたい
--------------------	--